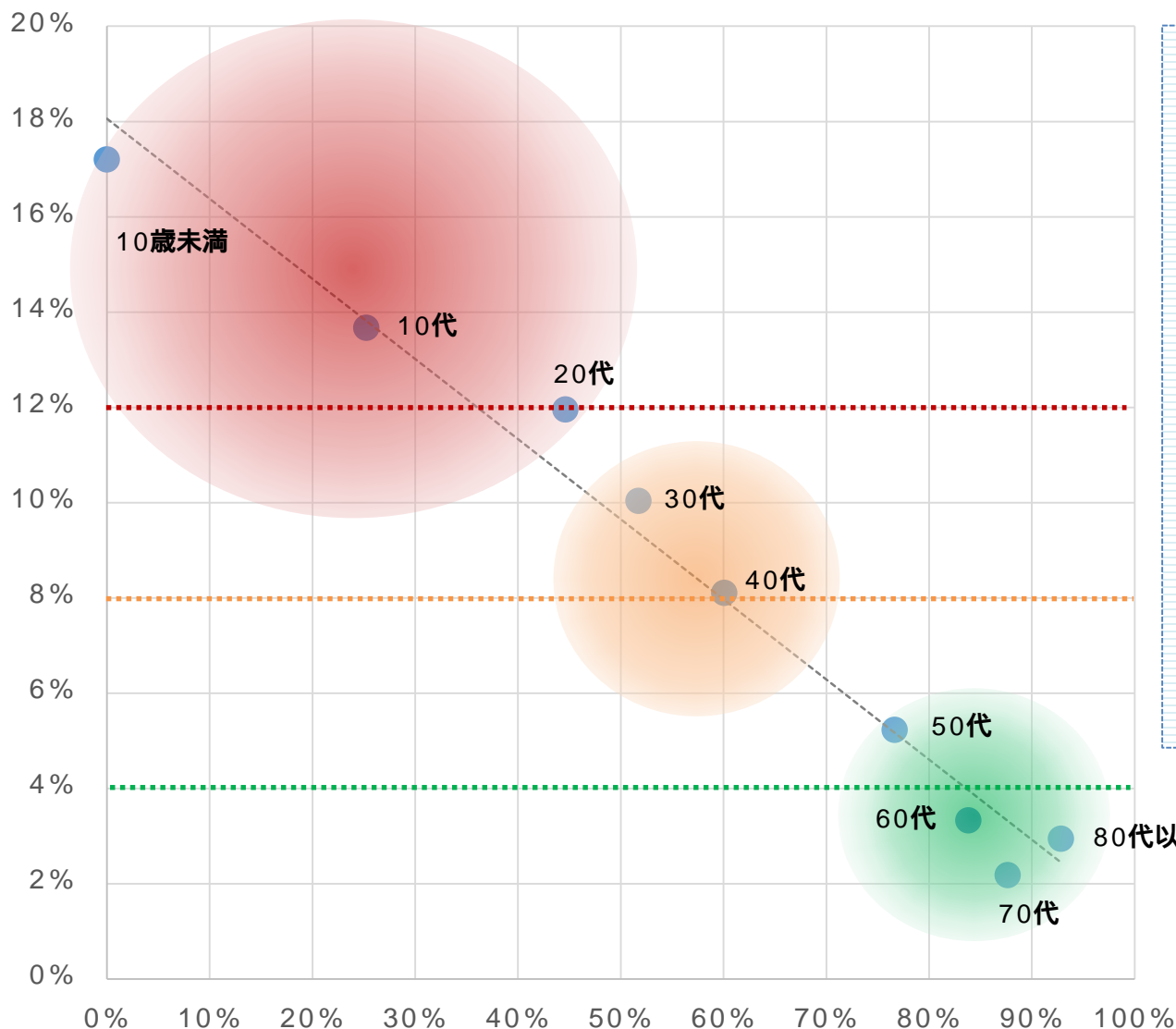


R4. 1月以降の都内各年代ごとの感染率と3回目接種率の関係

令和4年1月以降感染率(1)



ü ワクチン3回目接種率が高いほど、感染率が低い傾向が表れている

ü 3回目接種は、令和4年1月以降の感染の主体であったBA.1及びBA.2に対して有効であったと考えられる

3回目接種率(2)

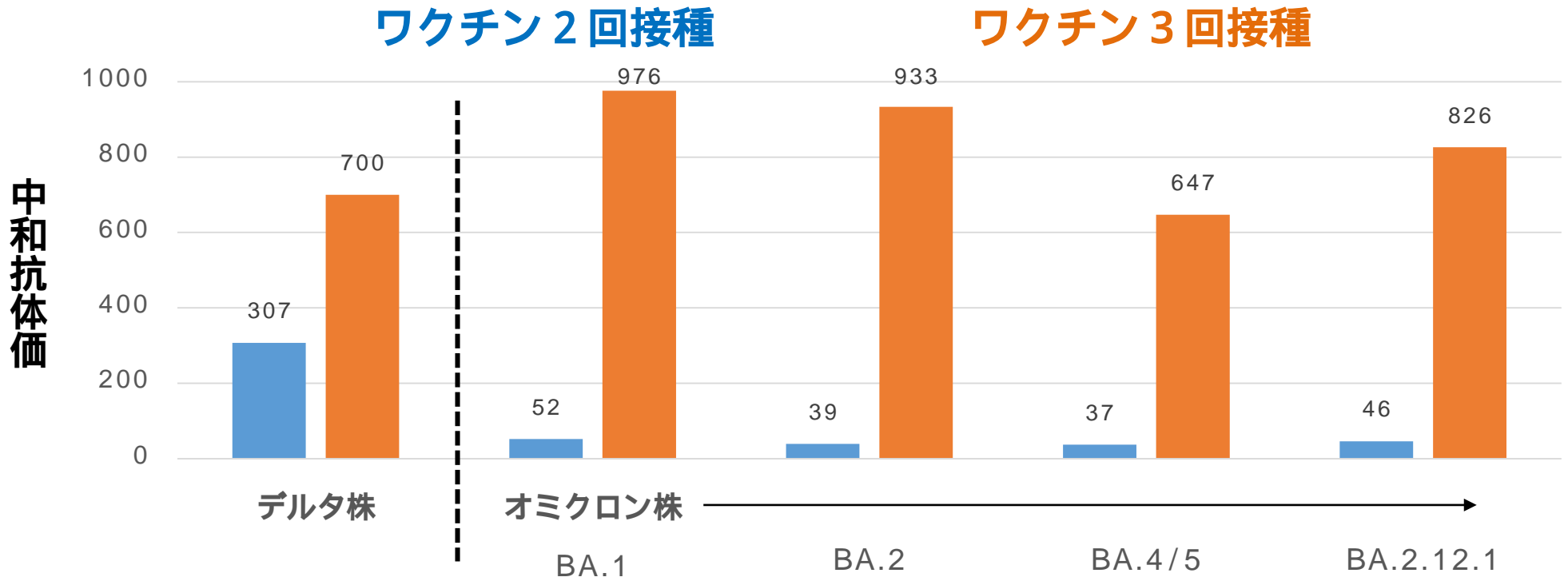
1 令和4年1月1日～6月30日の各年代の感染者数(居住地が都外、不明を除く)を各年代の人口で除した数値。

2 令和4年6月30日時点の各年代のワクチン接種率

3 1及び2の人口は、総務省公表の「令和3年住民基本台帳年齢階級別人口(市区町村別)」を使用

ワクチン3回目接種の効果について（デルタ株・オミクロン株）

ワクチン2回目接種及び3回目接種の3～4週間後の中和抗体価(n=15)



○ ワクチン2回接種では、オミクロン株亜系統への効果は限定的

○ ワクチン3回接種により、デルタ株だけでなく、オミクロン株亜系統に対しても高い中和抗体価が得られている

➔ 現在の感染の主体であるオミクロン株亜系統に対しては、3回目接種が重要

The NEW ENGLAND JOURNAL of MEDICINE 2022.6.15 Neutralization of the SARS-CoV-2 Omicron BA.4/5 and BA.2.12.1 Subvariants (アメリカ・オハイオ州立大学のデータ) を基に作成

15名の医療従事者が対象 (モデルナワクチンを3回接種した4名、ファイザーワクチンを3回接種した11名)